

双葉町の復興に向けた取組

人の復興

ICTきずな支援システム

全国に避難する双葉町民のコミュニティの維持・発展、交流機会づくりのため、情報通信技術を活用した、双方向のコミュニケーション・システムを導入しています。御年配の方々にも頻繁にご利用いただき、「コミュニティ広場」では町のイベントなど様々な話題で賑わっています。



タブレット講習会の様子

「集まれ！ふたばっ子2016」

7月16日、17日、スパリゾートハワイアンズで、双葉町の小学生、中学生、高校生が集う「集まれ！ふたばっ子2016」を開催。伝統芸能体験、グループ協議などを行いながら、懐かしい仲間との再会に喜ぶ姿が見られました。



標葉せんだん太鼓保存会

標葉せんだん太鼓保存会が、6月10日、11日にハワイで開催された「第37回まつりインハワイ」に出演し、双葉の情景を表現した勇壮な太鼓を響かせ、「双葉の音色」を披露しました



引用：まつりインハワイHP

町の復興

OPEN！！

コミュニティセンター（一時休憩所）

9月10日、JR双葉駅傍に、一時帰宅時に利用できる一時休憩所がオープンしました。水洗トイレ、冷暖房設備、多目的スペースなどが完備されています。ペットボトル飲料水の無料提供。利用時間：午前9時～午後3時。休館日：毎週水、木、年末・年始等

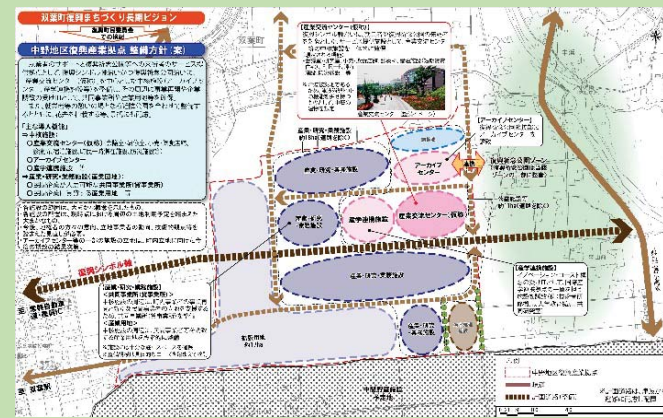


双葉町とURの協力協定

9月6日、双葉町とUR都市機構は「双葉町内復興拠点の整備等の復興まちづくりの推進に向けた覚書」を締結。URによる技術支援等により復興まちづくりの加速化が期待されます。



(中央) 伊澤町長、(右) 中島UR機構理事長、(左) 木幡福島復興局長



平成28年3月策定 双葉町内復興拠点基本構想(抜粋)

アーカイブ拠点建設決定

8月29日、東日本大震災と福島原発事故の記録と教訓を伝える「東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設」を町内中野地区に建設することを決定しました。